

6 7 8 9 60 1 2 3 4 5 6 7 8

80

70

60

1

2

3

4

5

6

7

8

9

1

2

3

4

5

6

7

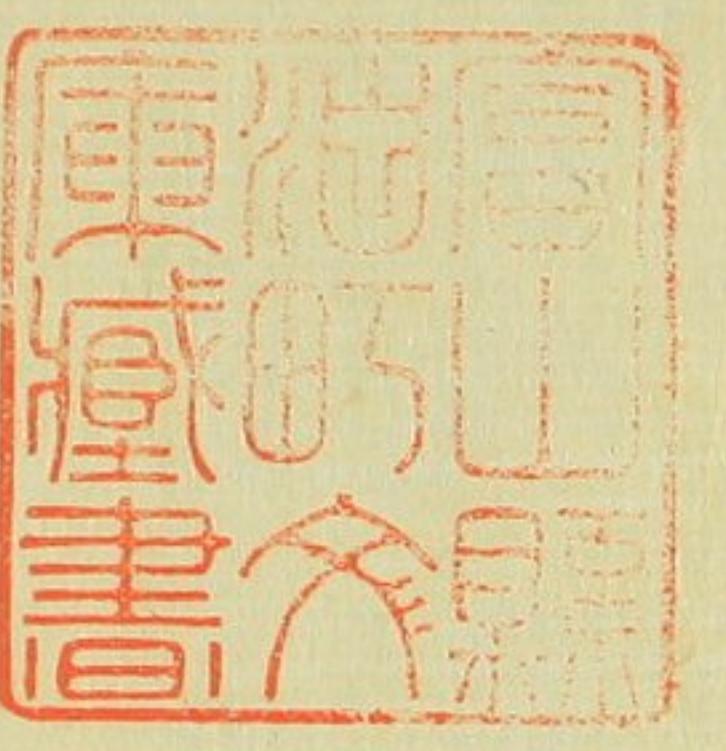
8

9

10

書道家  
宋氏書語  
卷之二





十六

○河卷名のより詞よりやとうととづき出する旗もくじとわく仍号  
○花以詞爲卷名也豎の並也源氏君才八歳のとき、漂漂卷ハ八月の事より  
此卷ハ九月石山詣のるをとむと故よ豎の並とハ云也  
○弄卷名以詞爲名せよやひうつ閑かんともひそれとせよやうとよばてよどみ  
やどりよ用て可然此卷横の並也源氏才八歳の九月まで也但空蝉うるおづく後九  
事トモアヤシムトテアリまち八歳十一月ハうまでのまわり蓬生ハ四月はまて焉  
仍此卷横也

○よのねと 細伊との仕果て上洛もく也

○之の年ひうちふ弄源氏もく物もくを也  
まく乃年常陸とみてくろり也  
或掀古院崩御ハ神卷源氏才二歳の冬也言  
年任常陸也源氏才三歳趣めびへ才五の年也  
才多のまくとくさ四の年也才三の年ひうち  
まくて下而ハ才四の年也

○もくぬろひとひかと或掀已下空蝉也  
孟常陸へとゆのゆうろひのゆとしう音信  
どやく空蝉のうひとくろふとひら  
これ也

○ほくとひ細ひひと根、一山、一ツ、一山と  
人ひともやもとすやんの三すそうき甲斐  
ひとと常陸のゆるれ、筑波根と用ひてよせ  
のゆハねう山、うといひていの山とぞ越え  
と云ひせられハ用ひて面白くしてよてよ  
くゆくてもうさうやううきよどり、却  
而生すしゅう由と見てゆ、音信ひよけ  
おとづるも細源氏のじゆへとすが、  
今年まで三年セリも細源氏のじゆへとすが、  
かれハ一任四年そのうりとくも

○よのねと 細伊との仕果て上洛もく也  
○之の年ひうちふ弄源氏もく物もくを也  
まく乃年常陸とみてくろり也  
或掀古院崩御ハ神卷源氏才二歳の冬也言  
年任常陸也源氏才三歳趣めびへ才五の年也  
才多のまくとくさ四の年也才三の年ひうち  
まくて下而ハ才四の年也

○もくぬろひとひかと或掀已下空蝉也  
孟常陸へとゆのゆうろひのゆとしう音信  
どやく空蝉のうひとくろふとひら  
これ也

○ほくとひ細ひひと根、一山、一ツ、一山と  
人ひともやもとすやんの三すそうき甲斐  
ひとと常陸のゆるれ、筑波根と用ひてよせ  
のゆハねう山、うといひていの山とぞ越え  
と云ひせられハ用ひて面白くしてよてよ  
くゆくてもうさうやううきよどり、却  
而生すしゅう由と見てゆ、音信ひよけ  
おとづるも細源氏のじゆへとすが、  
今年まで三年セリも細源氏のじゆへとすが、  
かれハ一任四年そのうりとくも

○乃年の秋、弄一任四、五年の  
あら也。ほ氏はも多下にて都合三年、その後  
おつて其前年下され、今五年めの秋、  
或搬古院開の又の年下され、今年六年

めたりと強而不考共も

せき入日細常陸京入日也

○石山、或搬聖武天皇御願朗年岡山祈破

金所也河海委

○きのうと万水常陸うす也室蟬まよ也

あいひうすとみよもして、又ま  
ほ氏せ八歳の秋也

テアリ候ひまくとひまくのりつき。

アシのる日、このより。

アシの日、ひまくとひまくのりつき。

アシの日、ひまくとひまくのりつき。

アシの日、ひまくとひまくのりつき。

○安車おや万水ひまく上洛のアンドキ  
あそび

○うち出のくゑ万水大津らくまくうら  
名前也

○あさ山河六枯栗田山くわくわくあくわく  
くわくわくわくわくわくわくわくわくわく

○のれども、アシの日、ひまくとひまくのりつき。  
アシの日、ひまくとひまくのりつき。

或姓 ほ氏の軍とひくに軍  
コサトトシ也

細ほ氏の軍とひくに軍  
巴姓 青表紙うきほ氏の軍とひくに軍  
ひろくのあと 河侍襖 級結染様  
花侍襖ハ縫物ト、  
物と用習也一キヌヒのくらきもと有  
細侍襖ハ面布にて裏絹也背ハ白いわゆ  
キモトモセアラリテモアリ當時と  
あらじて着もろハジカとのうとくもく  
つうもの也  
呂車ハ毛くれ細簾へと多故スミテ  
トセキテハ車の毛くれテスミテ  
かうとす、  
むの小君 花火とひくに軍とひくに軍  
のりうせ  
きよのせちひくに河客と送返よ四方の國と

細空蝉のくにほ氏の言傳へね也は今き方  
せきじくよ出ぬよといひうめへと真有  
おなまくそ 或披 大惣也あすとひくの軍  
途中よとれ年よこやのひくの軍  
せも人されす 万水 空蝉のくに中川の宿  
のひくのり 今又ととつせよスミテ不良  
きよとく

○ゆくと 空蝉也 河やと本と後撰  
閏越てあはつのりてわべとて清水スアレシ  
ウミトヨミク細清水うきと渡ハはるニ曲  
えもんがハ 井空蝉心中よらうあるれハ  
石山トリ 細糸幕とひくに

○右衛門佐細小君也あじくよまつせ  
ひくまく 花ほ氏ハ石山よ七日糸幕  
ゑもんや一日と云付ヘアラクミヤ  
細まくしてお時供エサハナドコロミタ

世よみへりてとくにあらざる  
うじゆかとてあらかじのアラマチ  
わくわく月づらづるれどもまぢ  
のづくくらまきがおがきつるく  
レバくさくへりてかくとくふく  
金とくにとくとく出へるを  
すくめどものづくくのうとくとく  
すくめどものづくくのうとくとく  
むとくくとくとくとくとくとくとくとく  
ハシタゲれかうねて、みのくのふ  
じみのまへ吉敷乃とくとくとくとくとく  
くとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

○うあみと 欧柳 叔爵也

○あちね世の 細とえれり也

○モード山をて 万水右出づ花とえの山も  
モテアリとほ氏恥心とてへそめやく  
と色スハ半一筋ハねど也

○さのうと 細中川の家わゝ也

○右近のさうとを 河解也  
細大將のうわ隨身で人也も多相びひ

○うあみと一假抽賞でをめぐる  
ハあまーひ也

○あとと火を或掛時よりてほ氏と  
もてやうと後悔もく也

○もととトセ 細右衛門也

○はせうと、或掛 宝蟬(文とつべす  
今ハおやー細そんのとよれと宝蟬と  
よくさんねねハうとうと也

○じと日ハうう弄文の羽也  
細やかめひばぬくと考うと也

○ヨクハ夷語也 花ゆき道近江路  
そくうゆきうね海ハアウカウシムヒツル  
後撰 墓々とね海とくとくとやとくとくとく  
うくして年の人々人世之細玉さうゆき

○ヨクハ夷語也 花ゆき道近江路  
そくうゆきうね海ハアウカウシムヒツル  
後撰 墓々とね海とくとくとやとくとくとく  
うくして年の人々人世之細玉さうゆき

あひむきとあるの。まこと也。  
○せうりの河邊坊。うれい常陸前司と云ふ。  
きうよもてていうや。細常陸久我わう  
て具して上洛せりといつ  
○年うのと絶し万水ほ氏右佐佑みがせ  
さきくわゆり也久く絶てうかくとまじ  
を心よハて今のやううるとも

○くわん或紙空蝉巻スねねお  
りす。え我がくよみもれてもううねと有  
同卷のまよいとほくへんめくめんはまもく  
らもとねと有まくよう空蝉の秋とく  
まくの絶ぐ  
○さとまく故人万水右佐佑空蝉未だ  
下絶べとゆ心也

○びくはなゆ細小君うほ氏よもくひ  
すまゆくよくわざうせおりのくとばとを  
さうというくまでわんうの絶ぐ

○まくひうて万水今名うけたハ音用の  
トロスもほ成ハまくよハえどくふと

○あひぬ高空蝉送寄也花相放のせぎ  
枝の本しきどとくへんもととハトウ  
細園の景氣也ひくとうほ氏と空蝉の  
中ハくのくとく也  
○少られやうよ万水文言とくし

○あくへこくや細草子地也

○あひぬ高空蝉送寄也花相放のせぎ  
枝の本しきどとくへんもととハトウ  
細園の景氣也ひくとうほ氏と空蝉の  
中ハくのくとく也  
○少られやうよ万水文言とくし

○あくへこくや細浦氏のぶ也

○あくへこくや細浦氏のぶ也

○あくへこくや細浦氏のぶ也

○此の君乃細室姫の事也我在世より  
うやうやしく

○万水室姫の事也常陸守の妻也  
やうやう老人に似合ひ妻と云ふ先世の事  
せううとぬよみねよへとくわいはらうき  
くわうかのまことんとの事也

ハあめのまほひにせうから  
がくとひらりあもひる  
ほりゆゑをあめうすてあ  
うもくうりしがくもよ  
このまみのひととアモヒキ  
うづりとくこの御みくよ  
うきせつづくうしきせ  
うじはくまきとくもあき  
うじまくまきとくもあき  
うじまくまきとくもあき  
うじまくまきとくもあき  
とあめのまほひにせうから

○今のうとうか万水ひらのうか

のうとう花子のまくよたこと金とえで  
うが老てうとうかさかうとき兼輔

○あくも細いつきこみの萬よハ  
母う故也万水子をうきとうせう  
お心也うくよ情あうとつう也

○とあるもうかと或掛うさせのうか  
と室姫の心よ觀念どく也

○とせうとうかと細中川のうかせう  
う心ようかくよかとこよせう

。衰カモシカのカモシカ或狹カモシカ 河内守カモシカ又の遺言カモシカ  
トモウムシテタリトシヤドリセ也。  
トモウムシテタリトシヤ万水河内守カモシカ早下也。

。トモウムシテタリの万水河内守カモシカ好色カモシカの心と  
ルモウムシテタリ。

。トモウムシテタリ或狹カモシカ空蝶カモシカの心也

。トモウムシテタリと万水空蝶カモシカ好色カモシカの心と  
ルモウムシテタリ。

。トモウムシテタリ細河内守也

。或抄我カモシカとアリヒテ尼カモシカ成狹カモシカと腹立カモシカ也

。トモウムシテタリ花河内守カモシカもて今ト  
後ハル身カモシカの爲カモシカもて今ト残カモシカの  
ヒトシヒトシとアリヒテニカモシカ成狹カモシカ也

。トモウムシテタリ河進恕カモシカ日本紀カモシカに  
其父カモシカの爲カモシカ也霜カモシカと我カモシカも  
秋カモシカの行カモシカてタラ花カモシカの色カモシカと心カモシカも  
テシテ人カモシカ細草子地也

。トモウムシテタリ河海カモシカ也進恕カモシカの字カモシカ也心カモシカ也  
河内守カモシカもと進恕カモシカの字カモシカ也心カモシカ也  
と云ハシマサウタリ同カモシカ筆者河内守カモシカ也  
海引カモシカ兩首カモシカとよ賢良カモシカの心カモシカ也心カモシカ也  
心カモシカをかどカモシカと心カモシカをハキカモシカ如荷

。トモウムシテタリ河進恕カモシカ日本紀カモシカに  
其父カモシカの爲カモシカ也霜カモシカと我カモシカも  
秋カモシカの行カモシカてタラ花カモシカの色カモシカと心カモシカも  
テシテ人カモシカ細草子地也

。トモウムシテタリ河海カモシカ也進恕カモシカの字カモシカ也心カモシカ也  
河内守カモシカもと進恕カモシカの字カモシカ也心カモシカ也  
と云ハシマサウタリ同カモシカ筆者河内守カモシカ也  
海引カモシカ兩首カモシカとよ賢良カモシカの心カモシカ也心カモシカ也  
心カモシカをかどカモシカと心カモシカをハキカモシカ如荷

